

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街振興対策				20年度予算コード	002	整理番号	113	枝番号			
担当部課名	区民生活部産業経済課			コード	051501		昨年度 整理番号	137, 140の一部, 141					
係名	商工係			連絡先 電話番号	3074								
上位施策名		No	45		魅力ある商店街づくり								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(2)	施策番号	事業コード	1
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等							
	商店会等					(1) 杉並区元気をさせ商店街事業補助金交付要綱 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱 (3) 杉並区新・千客万来・アクティブ商店街事業補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	商店会等が取組む各種事業に対し必要な指導・補助を行う。 Ex. イベント事業		補助対象経費100万円以下の事業 区1/6, 都1/2 補助 補助対象経費100万円超の事業 区1/3, 都1/3 補助		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 商店街を単なる買い物の場から、地域住民の多様なニーズを満たせる暮らしの場としての魅力を高め、集客力の向上を図るとともに、地域経済の活性化を図る。							
	活動指標名(式)	(1) イベント補助金交付商店会数 (2) ホームページ開設補助交付商店会数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) イベント開催件数(件) (2) 区内商店会ホームページ保有率(%)							
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%				
			実績		計画		計画	22年度					
	活動指標(1)	件	85		99		101	105	88.6				
	活動指標(2)	件	1		2		3	3	33.3				
	成果指標(1)	件	85		99		101	100	93.0				
成果指標(2)	件	25		30		28	30	86.7					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	104,134		131,863		87,657		134,405		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0		0				
	(内) 委託費	千円	0		2,760		2,760		4,760				
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.49	0.00	2.49	0.00	2.52	0.00	2.52	0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	22,559		22,759		23,033		23,033			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0			
	総事業費 + +	千円	126,693		154,622		110,690		157,438				
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,490,506		1,561,838		1,190,215		1,558,792				
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0			
		国・都等からの支出金	千円	40,968		52,039		43,441		50,539			
特定財源計 +		千円	40,968		52,039		43,441		50,539				
差引: 一般財源 -		千円	85,725		102,583		67,249		106,899				
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0					
19年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)			
	元気をさせ商店街(イベント)事業補助金							93	件	78,008			
	新・千客万来・アクティブ商店街事業補助金							2	件	3,003			
	経済交流事業補助金							6	件	1,020			
	ホームページ開設補助金							1	件	1,000			
	その他 (商店会等に対する各種補助及び事業費)									4,626			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 113 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	93.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	50.0	19年度予算 執行率%	66.5
	新・千客万来・アクティブ商店街事業は「商店街提案型」の2件のみの採択となり、「外部提案活用型」、「継続支援型」には応募がなかった。 イベント事業では、補助金が適正に執行されるよう対象経費等について区と都が厳格に審査を行うことから、予算額と確定額に差が出る場合が多い。また、補助金交付申請後にイベントを中止及び縮小変更する商店会があることも未執行額が生じる原因である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	昨年度に引き続き、今年度も新・千客万来・アクティブ商店街事業「商店街提案型」と「外部提案活用型」の補助限度額及び補助期間の変更を行う。特に補助期間については、これまで複数年としていたものを単年度事業とし、より利用しやすい制度とする。今後は、申請状況などを確認しつつ、商店街がより取り組み易い事業としていく。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	イベント事業に対する補助申請数は、年々増加傾向にある。その他の補助事業は例年極端な増減はなく、有効に機能していると思われる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助対象を拡大してほしい。限度額をアップしてほしい。
	今後の予測	チェーン店の進出、商店会会員の高齢化、後継者不足等、商業環境の変化により、商店会活動を担うべき人材不足が深刻化しており、商店会の地域コミュニティ活動への影響も懸念される。しかし、一方では、地域住民やNPO等とともに本事業を活用し、商店街と地域を活性化しようとする動きも高まりつつある。イベント事業などでは申請件数が増加しており、今後も本制度の必要性は高いものと思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 商店会のイベント実施や、ハード面・ソフト面の整備は商店会の活性化のためには欠かせないものである。その側面支援をしていくことは魅力ある商店街づくりへの大きな貢献となる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 商店会として何らかの事業に取組むことにより、商店会が活性化されることが一番望まれるが、少なくとも一つの事業に対し商店会一丸となって取組むことは会員の意識改革に繋がる。 理由または具体的内容: 補助金を有効活用できるよう、商店会と連携を深め事業内容を精査していく。状況によってはアドバイザー派遣などを行い、具体的な計画立案の助言・商店街の分析・組織の改善についてのフォローを実施する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 補助金終了後も事業や活発な商店会活動を継続するため、補助期間中も商店会経費を投入し、補助金に依存することのない事業運営を実施するよう指導する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 補助期間終了後も事業を継続するため、商店会に対し計画段階からコストなどを最小限にするよう指導していく。また各種情報提供を積極的に行い、経費をかけずに商店会の活性化に繋がる方策を周知する。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input checked="" type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策): 20年度より、NPO法人杉並中小企業診断士会の事業化提案を受け、再生支援モデル事業を開始した。【事業内容】区が選定した商店会等を対象に、新・千客万来・アクティブ商店街事業に取り組むための商店会等の事業計画の作成支援、事業継続のためのシステムづくりほか集中的な支援を実施し、商店街の再生と活性化を図る。中小企業診断士であるアドバイザーが、商店会等に赴き助言を行い、商店街の活性化にむけた支援業務を一貫して行う。			
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 多くの補助事業が区単独ではなく都の間接補助事業のため、独自に事業内容を改革していくことは困難である。しかし、新・千客万来・アクティブ商店街事業など、区単独での補助事業については、適正かつ効率的な方法を模索していく余地はある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各種事業を実施するにあたっては、大量の時間や労力を必要とするため、組織力や資金力の弱い商店会では、積極的に取り組むことができない状況にある。地道に周知活動を行い、希望する商店街に対し「アドバイザー」の派遣などで取り組みをサポートしていく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 イベント補助は、東京都の補助金制度改正により、商店会が実施できる件数が一部増加しているため、21年度は件数及び補助額の増加が見込まれる。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街環境整備			20年度予算コード	003	整理番号	114	枝番号
担当部課名	区民生活部産業経済課		コード	051501	昨年度 整理番号	140,145,146			
係名	商工係		連絡先 電話番号	3078					
上位施策名		No	45	魅力ある商店街づくり					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	63 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号 (2)	施策番号	事業コード 2
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区有灯の代替として商店会が設置する装飾灯の新設や建替に係る費用、装飾灯の維持管理費(電気料、修繕費、美化費)、商店会の設置する防犯カメラ等の施設整備などに対し一部助成を行う。		(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱 (3) 杉並区商店街防犯設備の整備に対する補助金交付実施要綱 事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 商店街の装飾灯や防犯カメラ、街の駅などの施設整備を進め安全・安心で魅力ある商店街を実現する。そうすることで商店街の集客力を高め、商店街の一層の発展を図っていく。					
	活動指標名(式)	(1) 装飾灯建設助成商店会数 (2) 電気料助成商店会数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 装飾灯建設商店会数に対する助成商店会数 (2) 助成対象商店会数に対する助成商店会数					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	会	3	4	4	2	5	80.0	
	活動指標(2)	件	121	121	120	120	120	100.0	
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)	%	100	100	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	102,757	238,969	183,336	106,996	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.48	1.39	1.51	1.39			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,409	12,705	13,801	12,705		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	116,166	251,674	197,137	119,701			
	単位あたりコスト(-)÷	円	38,722,000	62,918,500	49,284,250	59,850,500			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	14,408	37,495	57,097	13,573		
特定財源計 +		千円	14,408	37,495	57,097	13,573			
差引: 一般財源 -		千円	101,758	214,179	140,040	106,128			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	電気料助成		120	団体	34,993				
	維持管理経費助成		117	団体	13,513				
	井草北商店会(装飾灯建設)		79	基	15,750				
	神明通り共和会(装飾灯建設)		34	基	7,480				
その他 ()				111,600					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 114 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	99.2	19年度予算 執行率%	76.7
		申請件数及び事業実績が、当初見積もりを下回ったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		20年度は19年度と比較して、施設整備事業数が減になっているため事業費が減少している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	各商店街は来街者数や商店会会員数の減少に苦しんでいる状況の中で、魅力ある商店街づくりは集客力アップや会員増に不可欠の課題であり、本事業の必要性は高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	補助金の補助割合をアップしてほしい。					
	今後の予測	年々進む商店会会員の高齢化や会員数減少また大型店の進出などにより、商店街にとって厳しい環境は今後も深刻さを増すものと推測できる。このような状況では、本事業の役割はますます増すものと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 商店街装飾灯の建設や維持及び防犯カメラ設置等に対し助成することは、商店会の環境整備に寄与するとともに安全・安心のまちづくりに貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 補助事業の内容を精査しより有効に補助金を活用していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業で、負担率が規定されているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業で、補助率及び負担率が規定されているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 成果 事業費の2/3を補助することにより商店会の負担を軽減し、事業の推進を促している。 課題 事業の活用に消極的な商店会に積極的に働きかけ、よりおおくの商店会の活性化を図る必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 都の間接補助事業と連携しており、区単独で事業内容を改革していくことは困難である。 補助金をより有効に活用し、商店街の活性化を図れるよう商店会・都と情報交換等を進め改善を図っていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 (1)に同じ。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 施設整備事業の減。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		産業・観光まつり助成		20年度予算コード	4	整理番号	115	枝番号		
担当部課名	区民生活部産業経済課	コード	051502	昨年度 整理番号	147					
係名	商工係	連絡先 電話番号	3078							
上位施策名		No	45	魅力ある商店街づくり						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	47 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	事業経費の一部補助		(1) 地方自治法第232条の2 (2) 杉並区観光事業補助金交付要綱 (3)						
	活動指標名(式)	(1) 事務経費補助団体数 (2) 助成事業関連商店街数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 観光事業に要する経費の一部を補助することにより、地元産業の振興を図るとともに、区のイベントから都を代表する全国的なイベントとしてさらなる発展を目指す。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 観客動員数 阿佐谷七夕まつり (2) 観客動員数 東京高円寺阿波おどり大会						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	団体	2	2	2	2	2	100.0		
	活動指標(2)	団体	4	4	4	4	4	100.0		
	成果指標(1)	万人	60	70	60	70	70	85.7		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,500	3,605	3,605	3,500	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.23	0.20	0.24	0.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,084	1,828	2,194	1,828			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	6,584	5,433	5,799	5,328				
	単位あたりコスト(-)÷	円	3,292,000	2,716,500	2,899,500	2,664,000				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	6,584	5,433	5,799	5,328				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	阿佐谷七夕まつり補助		1	団体	1,500					
	東京高円寺阿波おどり大会		1	団体	2,000					
	その他 (東京高円寺阿波おどり備品購入)				105					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 115 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	100.0
		阿佐谷七夕まつりは今年55回目、高円寺阿波おどり大会は今年52回目を迎え、区における夏の2大イベントとして広く定着している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		高円寺阿波おどり大会は、19年度は131万人の観客があり、今年度も同人数を見込んでいる。そのため、適切な案内や警備の強化が不可欠である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	いずれも商店街の販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、東京都を代表するイベントの一つとなった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	七夕まつりについて、飾りつけのリサイクルが望まれる。高円寺阿波おどり大会について、ごみ・騒音・交通など住民の苦情がある。					
	今後の予測	高円寺阿波おどり大会は、週末開催に伴う安全確保のため警備の強化が求められている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: いずれのイベントも区内だけでなく、東京を代表する祭りに発展し、観光・産業の発展に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 来場者の増加により、警備費等の開催経費が増加しており、効率化には限界がある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: いずれも観光への補助事業であるため受益者負担の概念になじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 観光事業助成としては現状が適当だが、安全で環境に配慮したイベントを実施するためにはさらなる費用面での検討が必要である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 主催団体をはじめ、警察消防などイベントに係わる他の団体との部分的な協働は実現している。高円寺阿波おどりは、今後は特に保安・警備・環境面に関して総合的に連携していけるよう、自主的な活動を一層促す必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 主催者や関係機関との協議を進め、保安や環境配慮などの整備をすすめる。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 区内商業振興の観点から補助としては現状が適当である。ただし、祭りを観光資源としてPRしていくためには今まで以上の安全の確保、地域住民への生活への配慮など、主催団体をはじめとするイベント実施体制の整備を行う必要がある。そのため、イベントの安全実施などの経費補助について検討する。